

広報 なんせい

第8号

発行 南西糖業株式会社 編集 総務部
〒891-7621
鹿児島県大島郡天城町兼久高約2337
Tel 0997(85)3125 Fax 0997(85)3129

「サトウキビ農家」の皆様とともに

専務取締役
徳之島事業本部長
中村 研治

日頃は、私ども南西糖業の業務に対しご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、この度の平成20/21年製糖は、高い水準だった前期製糖を更に上回り、サトウキビ生産量26万7911トン（昨年比+4万947トン）、単収7・166トン（昨年比+0・965トン）の成績を収めることができました。併せて、サトウキビ収入も前期より約8億円多い約58億円となるとともに、島内への経済波及効果は専門機関の試算ではその約四倍である232億円となり、あらためて徳之島経済への貢献の高さを感じているところです。

このことは、恵まれた気象条件のもとで、農家の方々によるハーベスター収穫後の管理技術の向上や適期植付の実施、また各営農集団によって早期管理作業が徹底されたこと、そして各関係機関による生産振興への積極的な取り組み等、いわば皆様方の日頃からの増産努力、流した汗の成果であり、あらためて敬意を表します。

今後とも地域社会に貢献できる企業として、徳之島の皆様と共に

サトウキビは16年ぶりの大豊作！

平成20/21年 収穫面積及び生産量実績 南西糖業(株)業務部

区分 町別	農家数 戸	合計			当社 圧搾量 t	ハ-ベ-ス 比率 %	甘蔗糖度 平均 度	単価 平均 円	
		面積 ha	単収 kg	生産量 t					
徳之島町	今期	1,116	1,290	6,777	87,425	87,420	75.25	14.93	21,686
	前期	(1,126)	(1,274)	(6,061)	(77,220)	(77,070)	(72.45)	(15.01)	(21,978)
天城町	今期	1,109	1,351	7,696	103,970	103,106	84.69	14.66	21,422
	前期	(1,141)	(1,341)	(6,564)	(88,020)	(87,150)	(82.43)	(14.78)	(21,728)
伊仙町	今期	1,368	1,118	6,975	77,976	77,385	76.16	14.41	21,026
	前期	(1,319)	(1,072)	(5,914)	(63,393)	(62,743)	(72.03)	(14.67)	(21,603)
三町合計	今期	3,593	3,759	7,166	269,371	267,911	79.15	14.68	21,422
	前期	(3,586)	(3,687)	(6,201)	(228,633)	(226,963)	(76.16)	(14.83)	(21,778)

に歩み、持続的に発展できる企業を築き上げていく所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Q&A

20/21年 製糖の特徴

20/21年 製糖の特徴

Q 20/21年 収穫面積が増えた要因は？

A 収益性を上げる為に作型が夏植↓春植・株出系体に変わってきている。

A 2年連続の豊作年で農家の生産意欲が向上、面積拡大に繋がっている。

A 他作物からの転換、遊休地を開墾さとしきび面積に転換した生産農家がいる。

Q 生産量及び平均単収が16年ぶりに高かった要因は？

A 気象災害がほとんどなく、特に9月10日17日の8日間連続の降雨が単収向上に繋がった。

A 新奨励品種（N22、N23）の普及により生産量がアップした。

A 新農薬（プリンスベイト）の使用効果により欠株防止、単収向上に繋がった。

A 適期植付・早期肥培株出管理が定着単収向上に繋がった。

Q ハーベスター比率（79・15%）が年々高くなっているのは？

A 高齢者、兼業農家のハーベスター委託率が高くなっている。（ハーベスター収穫技術も年々向上）

A ハーベスターが全島で115台稼働しており、農家の要望に応えられる。

A ハーベスター収穫後の管理技術（株揃え、施肥、除草剤散布）が向上、単収がアップしている。

分蜜糖製造開始から50年

分蜜糖（ざらめ糖）の事

1959年（昭和34年）12月、徳之島では平土野と目手久の両工場で分蜜糖の製造が開始されました。今製糖期はちょうど50年の節目の年となりまし

た。分蜜糖とは、一般的に知られる「ざらめ糖」の事で、サトウキビから搾った糖液を煮詰め結晶化させ、その中から結晶粒だけを取り出したものです。結晶しなかった糖蜜液（糖類やミネラルが含まれている）を分離するので分蜜糖と言います。分蜜糖に対し、糖液をその



当社製品の分蜜糖（ざらめ糖）

まま煮詰め、冷やして固めたものを含蜜糖といい、これは一般的に知られる「黒砂糖」の事です。

当社では、創立（1966年）時より分蜜糖製造に携わってまいりましたが、当初4工場で2万1721トンの製造から44年を経て、今期は2工場で3万4775トンの分蜜糖が製造されています。

今号では、分蜜糖製造が始まった当時の思い出を、3人のOBの皆様方にインタビューしてみました。

昭和34年 平土野・目手久工場での思い出

昭和34年当時は、まだサタヤドウリ（黒糖製造小屋）が主体で、島内に多数の小型製糖場が並んでいました。大型の分蜜糖工場に出荷する農家は少なく、原料担当職員は休日や昼夜を問わず農家を訪問し、大型工場利用のお願いと原料増産に向けた営農指導に明け暮れていました。おらが伊仙で見せたい我慢、三大工場の黒けむり、と唄われる伊仙小唄が出来たのは、ちょうどこの頃だったそうです。

分蜜糖製造開始が決定し、篠原浩一さん（鹿児島市在住OB）を団長とした7名が横浜精糖（株）（現在の三井製糖（株））へ、2ヶ月間の製糖技術研修に派遣されました。更に製糖期には、横浜精糖（株）から11名の指導者が来島され、結晶・分離担当者の技術習得研修が続ききました。

工場設備は、殆ど本土から運ばれた中古機器ばかりでした。夏場の休糖期に臨時職員が駆り出され、建設工事に従事しました。12月に製糖を開始しましたが、毎日のように故障が続き製糖作業より修理作業の方が多く、中でも目手久工場では結晶缶に設置した新品の真空パイプが設計ミスでペシャンコになり、更にボイラーの故障が多く、蒸気が回らないので結晶作業は大変苦労したそうです。

ピット内に入り大量に獲れ、厳しい昼夜勤務の慰めの一つにもなったそうです。



昭和31年頃の平土野工場



昭和37年頃の目手久工場

インタビューにお答えくださったOBの皆様



守 孝次郎さん
犬田布（69歳）



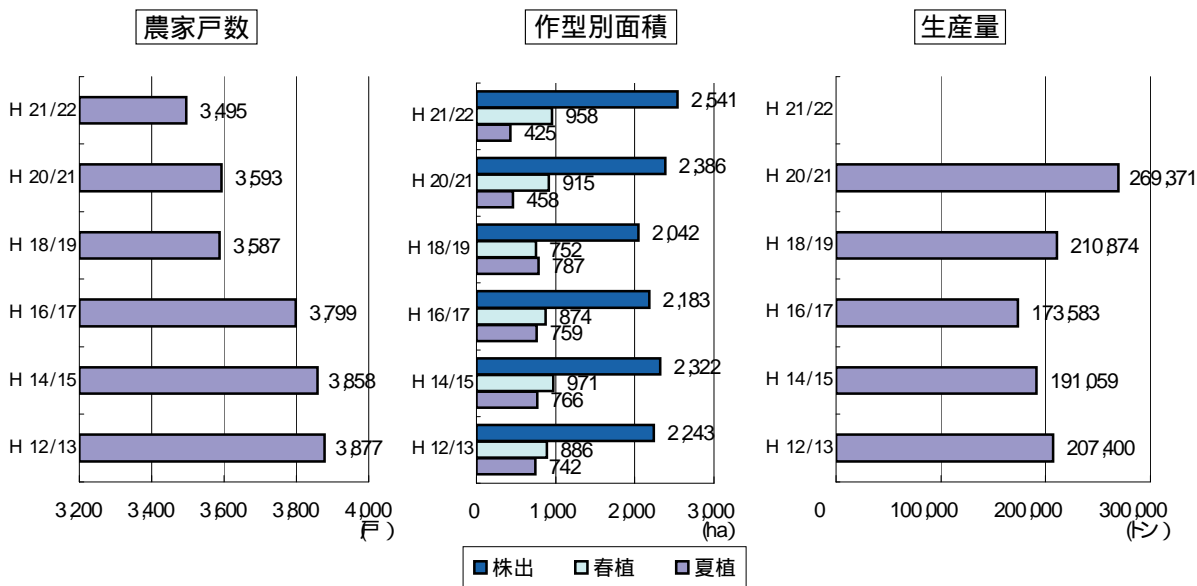
田川 英義さん
浅間（73歳）



折田松信さん
喜念（84歳）

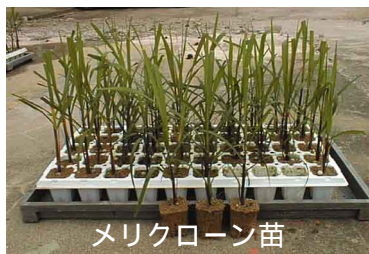
近年のサトウキビ生産推移と6/1面積調査結果

夏植シーズン到来！
適期植付で単収向上を図ろう



メリクロン苗(良い苗)から良いキビづくりを始めましょう！

- ・ 来期の夏植え種苗用としてメリクロン苗を植えてみませんか？
- ・ 9月～11月に150本の苗を栽培すると、約10a(1反)植付分の二節苗を採苗することができます。辺り畑(アタイバテ)や、畑の間でも栽培OK！
- ・ 無病のメリクロン苗から採れる苗は、発芽能力が高く、生育も旺盛で、約20%の増収が期待できます。



利用案内
 新奨励品種 / 農林 22号 農林 23号
 苗の農家購入価格 // 30円 / 1本
 価格 100円 / 1本: 増産プロジェクト基金より 60円
 その他各町より 10円助成あり。
 購入先 / 南西糖業株 徳和瀬業務事務所 (82-0167)
 伊仙業務事務所 (86-3121)
 平土野業務事務所 (85-3125)
 育苗ハウス / 灰城町瀬滝 (81-2030)

【殺虫剤は使用基準をよく守り、安全装備をしっかりと行き散布しましょう！】

害虫名	農薬名	使用量(/ 10a)	使用時期	使用回数
ハリガネムシ	プリンスバイト粒剤	2～3袋	植付時	1回
	アドバンテージS粒剤	2～3袋		1回
	ダイシストン粒剤	2～3袋		1回
チンチバック メイチュウ バッタ ワタアブラムシ	スミチオン乳剤	1,000倍	発生初期	4回以内
ノネズミ	ヤソジオン クマリン	20～30袋 15～30袋	10月～	

す。開元が職へ
 で、は異総
 頑の農出初務
 張家の身動部
 りの皆がなから
 たい様津で徳
 と共南不和
 思に区安瀬
 っパで業
 いワあり務
 ま全地担務
 地す当所



徳和瀬業務事務所長
松山 富吉

張単生 務
 つ収か町 徳
 てアし内 和
 いッ農所 瀬
 きブ家のへ 業
 たい・のそ参 務
 と思農のれ事 務
 い家のをのま 所
 思所聞の地 所
 い得き域の 長
 ます向な特 伊
 頑上な性 仙
 をら、業



伊仙業務事務所長
東郷 富也

く頑キい長り
 お張りのま
 願の増た。世
 いすの産に
 致すの向今
 します。けも
 ます。ど、島
 うぞ一宝難
 ろ直サうに
 し線トごは



平土野業務事務所長
松山 洋次郎

新業務所長紹介

製糖終了感謝デー開催

今期の生産振興大会ならびに製糖終了感謝デーは、6月21日（日）天城小学校体育館において、約700名の農家参集のもと開催されました。今期は16年振りの豊作を記録したことで、出会された農家の皆さんには笑顔が溢れ、会場内はこれまで以上の盛り上がりを見せました。

当日は弊社から出会された農家の皆さん全員にお土産として、徳之島のサトウキビを原料として製造された、三井製糖(株)と塩水港精糖(株)の製品

の「上白糖」をそれぞれ贈呈し、自分達が生産した「サトウキビ」が最終的にこのような製品になるという認識が深められ大変好評でした。



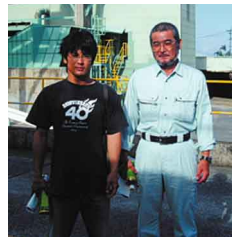
来期の製糖終了感謝デーは「徳之島町」で開催予定です。多数の皆様のご出会をお待ちしています。

1,000トン達成 表彰者紹介

氏名	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	ハーvester	トラクター
仲 公男	15.3	7,458	1,141	2台	5台
林 利広	14.3	7,615	1,089	1台	4台



林 利広さん 家族



仲 公男さん 親子

個人情報の取扱いについて

個人情報の取得の目的（当社「個人情報保護方針」2.）
当社は、サトウキビ農家の皆様から取得した個人情報について、次の目的で取り扱うものとします。

- (1) サトウキビ代金の精算のため
- (2) サトウキビの生産振興に資するため

個人情報の共同利用について（当社「個人情報保護方針」3.）

〔 〕 当社と次の組織との間において、サトウキビ農家の皆様の個人情報を、共同利用させていただきます。

1. 農業協同組合との間の共同利用
 - (1) 共同利用される個人データの項目
生産者名 圃場名 刈取状態 受入各重量 甘蔗糖度
原料代金 控除金額
 - (2) 共同利用する者の範囲
イ. あまみ農業協同組合徳之島事業本部と南西糖業株式会社
ロ. あまみ農業協同組合天城事業本部と南西糖業株式会社
 - (3) 利用する者の利用目的
サトウキビ代金の精算手続のために、共同利用させていただきます。
2. 共済組合との間の共同利用
 - (1) 共同利用される個人データの項目
イ. 原料受入れデータについて
生産者名 原料受入日 農家集落名 受入各重量
甘蔗糖度
ロ. 営農データについて
圃場集落名 植付面積（品種・作型別）
過去3カ年の収穫面積、単収、収穫数量
 - (2) 共同利用する者の範囲
南大島農業共済組合と南西糖業株式会社
 - (3) 利用する者の利用目的
共済加入者の諸手続のために、共同利用させていただきます。
3. 有限会社南西サービスとの間の共同利用
 - (1) 共同利用される個人データの項目
生産者名 原料受入日 農家集落名 受入各重量
甘蔗糖度
 - (2) 共同利用する者の範囲
有限会社南西サービスと南西糖業株式会社
 - (3) 利用する者の利用目的
有限会社南西サービスに対する作業委託者の諸手続のために、共同利用させていただきます。

〔 〕 当該個人データの管理について責任を有する者の名称
南西糖業株式会社 徳之島事業本部 業務部
電話番号 0997-85-3125

わきや島の宝

徳之島で見られる絶滅危惧植物

ホウザンツツラフジ （ツツラフジ科）

徳のサトウキビ畑の土手1カ所にみに自生している。常緑の多年草でつるの茎に小さな白い花を咲かせる。生育地が畑の土手であるため草刈りや除草剤散布等により常に絶滅が危惧されている。

環境省：絶滅危惧 A類
（ごく近い将来に野生での絶滅の危険性が極めて高い種）
ホウザンツツラフジは、台湾や中国などに自生しているが、日本では唯一徳之島町花

